# 日韓アジア基金



## ニュースレター

## カンボジアの子どもたちに教科書を

2018年7月 No.65

## カンボジア訪問記(支援小学校訪問)

#### スタッフ 若松晴美

私が初めて「日韓アジア基金」と出会ったのは、2013年のグローバルフェスタでした。その時に初めて訪れた「日韓アジア基金」のブースで、今は亡き大澤さんを質問攻めにしてしまったことを昨日のことのように思い出します。

## ~目 次~

カンボジア訪問記1 ~ 3これまでの活動 ③4 ~ 5ボランティアさんの感想6クラウドファンディングについて7事務・会計報告8

シェムリアップ州から車で3時間の所に位置するバッタンボン州で生活しているある家族の住む家の建築活動に携わり、日本でも何かの支援を通してカンボジアの人たちと関わり続けていたい、という思いが募り、グローバルフェスタで出

会った大澤さんを思い出し、現在 まで「日韓アジア基金」とお付き 合いさせていただいています。

今年のゴールデンウィークにカンボジアへ単独で旅行へ行送先の際にぜひ支援先の際にぜひ支援先のと会ってみたい! 現地活動をとらな様子なのか、募金にひかる支援先を実際にしてみたい! と思い、現地と思いなけっただきました。

リティさんは、とても優しく、 穏やかな方でした。学校は、首都 プノンペンから車で 40 分ほど走 った郊外に点在していました。 教科書を支援している正規の小学







校に加え、当会が支援する非正規識字学校(以下:NFEC)を訪問できました。どの学校へ行っても教職員の方や子供たちが歓迎してくださいました。

日韓アジア基金からの寄付で購入されたいくつかの教科書には、"I Love Asia Fund"というスタンプが見返しのページに押されていて、募金が確かに役に立っていることを改めて肌で実感しました。国語(クメール語)、社会、地理、算数 etc と科目があるそうですが、募金の金額により、直近ではクメール語の教科書しか購入ができなくなったとのことでした。

NFECでは、多くの子供が生活をしていくため に小さいながらも家族の仕事の手伝いをしつつ

学校へ通っていたり、両親がいなくて、学校近くの寺院で寝泊りをして学びに来る男の子もいるということを聞きました。

NFEC は正規の小学校と比べると、とても簡素な建物で、天井がない箇所もあり、雨が降ればぬれてしまうような所で、子供達は長い机と椅子にぎゅうぎゅう詰になって勉強していました。お世辞にも設備が充実しているとは言うことができませんが、どの子も真剣な眼差しで、目の前の問題を解くために一生懸命に勉強し



ていました。一度 NFEC が閉鎖されるというお話があったそうですが、子供たちや 先生方の姿を目の前で見ていて、今後もずっと学校が続いていくようにと、日本 に帰ってから自分には何ができるのか、思いを巡らせました。

首都のプノンペンでは、数ヶ月おきに高層ビルがどんどん建っていく一方で、 教育に関しての政府の予算は不足していることを、今回の旅で強く感じました。 リティさんの『カンボジアの人々はお寺にはたくさんの寄付をして自身の極楽浄 土への道を切望するが、そちらにばかりお金が流れ、本当に今必要なことにはお 金が回らない。それどころか、その不足部分を海外に援助してもらうというのは とても矛盾している』というお話がとても印象的でした。

今回の旅で、日韓アジア基金を支援してくださっている方々に、いただいている寄付がどれほどカンボジアの子供たちの学びに役立っているのか、少しでもリアルな現地の情報をお伝えできていれば幸いに思います。これからも、子供たちの、時に真剣で、そして時にキラキラした可愛らしい瞳で笑いかけてくれる笑顔を守っていけるように、基金を支えてくださっている全ての方々と共に、さらに募金活動や広報活動に邁進していきたいと思います。

オークンチュラウン!! 今後ともご支援よろしくお願いします!!



## これまでの活動成果の振り返り 第3回

代表理事江本哲也

日韓アジア基金も皆様の温かいご支援のおかげをもちまして、発足以来、今年で17年となりました。ここで、この間の活動の成果を振り返り今後の会の発展の糧としたいと思います。今後ともご支援よろしくお願いします。

## 2009年11月 新しいプログラムその1 幼稚園スクールバス

前年秋に開園したルセイサン小学校付属幼稚園は1年が経過しましたが、園児の数は16、7人で止まっていて、当初の目的である小学校入学時の落ちこぼれ防止については、その効果が余り期待出来る状況ではありませんでした。

そこで日本側が、園児増加のための策を色々検討し、「スクールバス」という考えを現地に提案しました。リティさんを中心に、幼稚園の園長でもあるルセイサン小学校の校長先生と元の校長先生が、幼稚園入園対象となる子供の親御さんと個別に面接した所、非常に評判が良く実施の検討に入りました。

具体的には、村でマイクロバスを持ってハイヤー的な営業をしている人がいるので、このバスを運転手込みで借り上げることにし、月額230ドルで当初6ヶ月の契約ということで始めることにしました。契約はルセイサン小学校のクム・クーム校長と、バスの持ち主兼運転手のセン・ティさんの間で結ばれ、支払い責任者は日韓アジア基金となりました。当会からは、園児の安全に配慮して幼稚園の先生を添乗して貰うことも要請しました。

この話に関連し、大変興味深いことが起こっています。それは、幼稚園の園児の数が10月から40人を超えたということです。ちょうど新学期というタイミングもありますが、面接をしただけで園児の数が急増したのです。

リティさんは、この原因がバスの話の効果だとの意見なのですが、日本のスタッフは「まだバスが走ってもいないのに」と今一つピンと来ない気持ちでした。

またこの案件の費用対効果についても、スタッフ間で色々議論をしましたが、 取り敢えず1年間実施して、その間にプログラムの終了の条件も含め検討しよう ということでスタートしました。

## 2009年11月 新しいプログラムその2 小学校不足教科書補填

私たちの支援地域には二つの公立小学校があります。アジア未来学校の修了生が通うルセイサン小学校と、アジア未来学校の元の先生方が勤めるワット・ハー小学校です。この両校で教科書が不足しているとの話があり、当会がこの不足分を補填することにし、新学期に合わせ実施しました。

2006年当時、当会理事の故大澤氏が両校の授業を参観した時、殆どの子供は 熱心に授業を聴いている中、ぼんやりとしている子供がクラスに2、3人いまし た。その子たちは教科書を持っていなかったということが判り、それ以来教科書 不足を気にしておりました。一方、不足しているものを単純に補填するというや り方は、現地の自立という意味では余り好ましくないという考えもあり、スタッ フの中でも意見が分かれていました。しかし実施することにしたのは、当会の規 模から言って、この支援は私たちの身の丈に合ったものであり、教科書の不足も かなりの数にのぼっており、支援すれば大きな効果が期待できると考えました。 不足教科書と、生徒への配布の写真は下記の通りです。(次号に続く)

ルセイサン	教科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			総額・ドル
	クメール語	30	47	40	45	40	0	辞書	1	
	算数	20	47	40	40	40	0	短編物語	20	
	社会	20	10	10	20	20	0	中編物語	20	
	生物	0	10	10	10	20	0	長編物語	10	413.5
-11-46G	教科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	教師用		総額・ドル
	クメール語	54	47	53	45	32	50	2		
	算数	54	47	53	45	34	50	2		
	社会	21	34	18	18	21	23	2		
	生物	15	24	19	21	17	24	2		627,79



配布する教科書の山・かなり足りなかった ことが分かります



校長先生自ら配布しています

## ボランティアに参加して

#### 高校生 隅田利菜

私が「ニュースレター発送のボランティア」に参加した理由は、韓国の大学に進学希望しており、何か韓国に関わることをやりたかったからです。また、その大学へのアピールのために今回参加させていただきました。この日韓アジア基金は韓国人の方が設立したそうで、韓国に関心がある私にとって、興味をそそるものでした。このボランティア活動は午前中だけで、また特に必要な技能などないので、とても気軽に参加することが出来ました。ボランティア活動初心者などには特におすすめだと思います。

実際にボランティアに参加したときの第一印象は、とにかくスタッフの方々が 親切で、作業を細かく説明してくれて、とても良い雰囲気でした。私は一人で参加し、あまり人と話すことが得意ではないため、少し不安がありました。しかし、 スタッフの方々が明るく話しかけてくれ、そして他の参加者の方々も優しく、そんな不安はなくなりました。作業は特別難しいわけではなく、不便なこともありませんでした。私が参加した今回は、学生が思った以上にいたので、高校生の私には安心感があったというか、居やすい雰囲気がありました。

一番印象的だった作業は、手書きで手紙を書いたことです。私は普段から手書きで何かを書くことがありますが、やはり枚数を重ねると手が痛くなりました。しかし、手書きというものはタイピングよりも書いた人の温かみを感じられるもので、今回のような大切な手紙に手書きを入れたのは本当にいいアイディアだと思います。

実際、私が参加したこの日には韓国人の方が一人もいなかったため、韓国に直接関わることが出来たわけではありません。しかし、それでも今回このボランティアに参加したことを後悔していません。この日韓アジア基金が行っている発展途上国の子どもたちの支援は本当に意味のあることで、とても心惹かれました。私も彼らのために出来る限り協力したいと思っています。また日時が合えば、ニ



## クラウドファンディングについて

斉藤乃章

今般、当会はクラウドファンディングサイト最大手の Readyfor に教科書支援のプロジェクトについて、クラウドファンディングの申し込みを行いました。クラウドファンディングとは、SNS等を活用してプロジェクト達成のための資金を不特定多数の人達から集める手段です。既にお知らせしている通り、当会は現在深刻な財源難に陥りつつあり、このままで行けば早晩活動の継続に支障をきたす恐れがあります。

当会としてこれまで様々な打開策を検討してきましたが、クラウドファンディングはその一つであります。従来は皆様の寄付、会費によって支援活動を運営してきましたが、支援活動、特に教科書支援を一つのプロジェクトとして捉え、社会にその有用性を訴えることにより一定期間(1 ケ月半)に限って広く寄付の募集を行うことになります。

当会が手掛ける今回のクラウドファンディングは具体的には以下の通りです。

- ・目的 2018年秋の新学期に必要な教科書購入のための資金集め
- 目標金額50万円(予定)
- 募集期間7月15日~8月31日(予定)
- ・募集内容の掲載サイト Readyfor のH P
- ・募集期間中の当会としての活動 スタッフが新着情報やメッセージリレーを展開し、募集プロジェクトを盛り上 げます
- ・皆様へのお願い
- ① Readyfor のHPで当会の募集記事を是非ともご覧ください。ご賛同頂ける方は寄付の申し込みをお願い致します。
- ② 皆様の知人友人に Facebook や Twitter などのSNS上での拡散をお願い致します。

このニュースレターがお手元に届く頃には Readyfor の HP 上での掲載が始まっていると思います。

クラウドファンディングは募集期間内に目標金額が集まらなければ不成立と なり資金を得ることはできません。皆様のご協力をお願い致します。 当会イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方 (敬称略・順不同)

2018年4月

### 8 日ニュースレター64 号発送作業 (18 名)

隅田利菜・加曽利咲とお母様・川口廣起・三浦友美・石川陽子・狩野里奥・君塚祐香 浮田彩菜・小倉美南・馬場百花・羽生さら・宮地花奈・稲垣瑞恵・長内麻誉・星野廣平 丸山芳彦・斉藤乃章

2018年6月23日ビビンの会 スタッフ (12名)

柳明姫・水谷充徳・稲垣瑞恵・千葉まゆみ・長内麻誉・チャンセレイロット・小森新

若松晴美·井濱沙織·霧山祐司·丸山芳彦·斉藤乃章

### 2018年4月4日~2018年7月4日に会費・ご寄付を下さった方 (敬

渡辺京子	柳明姫	佐藤和之	松井ふみ子	森健造	長島和子
小林栄次郎	山越栄子	荒川晶子	渡部澄江	藤井幸子	柴田義之
福島悟	工藤早苗	長谷川容一郎	松田明美	松本忠雄	松本美里

## ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費5,000円学生, 未成年者2,000円)

替助会員:年会費15,000円/学生、未成年者1日2,000円)

法人会員:年会費1口10万円 ご寄付:2,000円以上おいくらでも

活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。

総会での議決権がございます。

賛助会員:定期的にご支援頂ける方。

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

<お問合せ先> (日本語でお願いします)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内

Tel: 090-5812-1471(庶務·会計担当 斉藤) FAX: 03-3946-7599 (ABK)

E-メール: nikka17@iloveasia2. sakura. ne. jp

HP: http://www.iloveasiafund.com

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也

8

郵便振替口座

支店名 ○一九(ゼロイチキュウ)店

口座番号 当座 00180-2-25153

口座名義 日韓アジア基金

(カタカナ表記 ニツカンアジアキキン)